

坂口 志文 京都大学名誉教授のノーベル生理学・医学賞 ならびに
北川 進 京都大学特別教授のノーベル化学賞受賞について

お二人のノーベル賞受賞を心からお祝い申し上げます。永年の努力と研究が実を結んだ結果であり、心から祝意を表したい。ゆかりの深い京都大学から同じ年にお二人もノーベル賞受賞者を輩出したことを、大変うれしく思う。

坂口氏は、免疫学の分野において「制御性 T 細胞」の発見とその機能解明により、がんや自己免疫疾患の治療に新たな道を拓かれた。その業績は、医学の進展に寄与し、世界中の人々の健康と福祉に多大なる貢献をもたらすものである。

また、北川氏は、「多孔性金属錯体」の開発を通じて、環境問題の解決や次世代エネルギーの創出に向けた革新的な技術を確立された。その成果は持続可能な社会の礎となるものであり、今後さまざまな分野への応用が期待される。

両氏の受賞は、京都のアカデミアの学術・研究の厚みと先進性を改めて世界に示すものであり、地域経済界としても大きな誇りである。今後も京都が、学術と産業の融合によって世界に貢献し続ける都市であり続けるよう、京都商工会議所としても一層の努力を重ねていく所存である。

改めて、坂口氏、北川氏のご栄誉に深甚なる敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を祈念する。

以上

令和7年10月9日

京 都 商 工 会 議 所
会 頭 堀 場 厚